

第 23 回 日本団地少年野球選手権大会

日本団地少年野球連盟

<出場チーム>

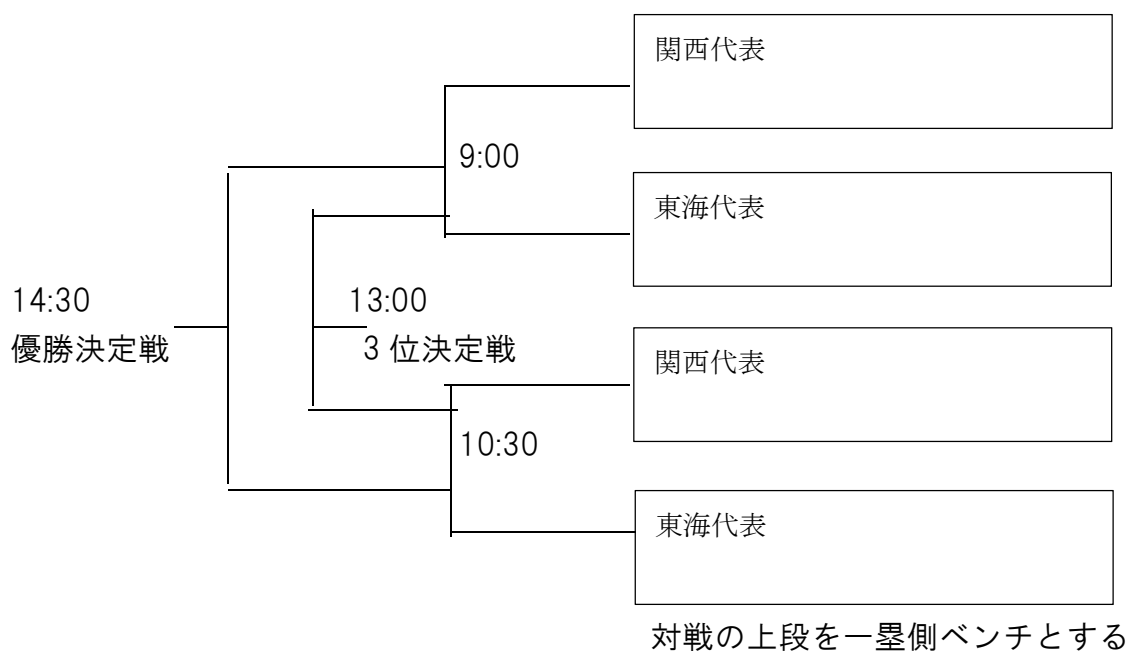
小牧パンサーズ（東海団地代表）

千里丘イーグルス（関西団地代表）

美木多イーグルス（関西団地代表）

有松ジュニアーズ（東海団地代表）

<大会組合せ>



第23回 日本団地少年野球選手権大会 大会要綱

1. 主催

日本団地少年野球連盟

2. 主管

関西団地少年野球連盟

3. 後援

デイリースポーツ

4. 協賛

内外ゴム株式会社

5. 会期

平成27年8月20日(土)・21日(日)

6. 会場

開会式/親睦会/宿泊

・コープこうべ協同学苑 兵庫県三木市志染町青山 7-1-4

☎ 0794-85-5500

試合会場

・三木総合防災公園野球場 兵庫県三木市志染町三津田 1708

7. 表彰

| | | |
|--------|----------|---------|
| 優勝チーム | 連盟 | 旗、楯、賞状 |
| | デイリースポーツ | メダル、参加賞 |
| | 内外ゴム | 楯 |
| 準優勝チーム | 連盟 | 楯、賞状 |
| | デイリースポーツ | メダル、参加賞 |
| | 内外ゴム | 楯 |
| 第三位チーム | 連盟 | 楯、賞状 |
| | デイリースポーツ | 参加賞 |
| | 内外ゴム | 楯 |
| 第四位チーム | 連盟 | 楯、賞状 |
| | デイリースポーツ | 参加賞 |
| | 内外ゴム | 楯 |

8. 大会役員

| | | |
|----------|--------------|------------------|
| 大会会長 | 中居 正夫 | 関西団地軟式少年野球連盟理事長 |
| 大会副会長 | 水谷 浩之 | 東海団地少年野球連盟理事長 |
| 事務局長 | 泉 明夫 | 関西団地軟式少年野球連盟副理事長 |
| 務担当 | 金井 五十四 | 東海団地少年野球連盟副理事長 |
| 大会審判委員長 | 柳田 俊幸 | 関西団地軟式少年野球連盟副理事長 |
| 大会審判副委員長 | 湯本 哲夫 | 東海団地少年野球連盟副理事長 |
| 大会運営 | 関西団地軟式少年野球連盟 | |

開会式及び親睦会

8月20日

- 会場： コープこうべ協同学苑 研修室
※出場チームの指導者・選手及び父兄は会場へ 15:00 までには、到着し、ユニフォームを着用し着席のこと
- 15:00～ (進行) 事務局 泉 明夫
- 開会式： 1. 主催者挨拶 大会会長 中居 正夫
2. 審判長訓示 大会審判委員長 柳田 俊幸
3. 選手宣誓
- 親睦会： 4. 大会役員紹介
5. 出場チーム紹介
6. 組み合わせ抽選会
7. 閉会挨拶 大会副会長 水谷 浩之

開会式及び親睦会

8月21日

- 会場： 三木総合防災公園野球場
- 試合： 09:00～ 第1回戦 A
10:30～ 第2回戦 B
13:00～ 三位決定戦
14:30～ 決勝戦
- 閉会式： 16:00～ 進行 事務局 泉 明夫
1. 選手整列
2. 成績発表 審判副委員長 湯本 哲夫
3. 表彰 大会会長 中居 正夫
4. 大会講評 審判委員長 柳田 俊幸
5. 閉会挨拶 大会副会長 水谷 浩之

大会規定

1. 本大会は、平成 27 年度日本公認野球規則及び全軟野球規則の学童の部要項に基づく。
2. 本大会は上記のほか、下記の特別規約も設定し、特別規約が優先する。
 - (1) 大会はトーナメント方式とし、1 回戦は東海代表と関西代表の対戦とする。
 - (2) 本大会の試合は 7 回戦とするが、試合開始後 80 分を過ぎて新しいイニングに入らない。7 回未満の試合回数でも、試合成立とみなす。
 - (3) 決勝戦を除き、終了時点で同点の場合は 抽選とし○、×カードを最終出場の選手 9 人が交互に引き、○カードを多く引いたチームを勝ちとする。
 - (4) 延長戦は同点の場合は時間内（80 分以内）に於いて認める。但し、優勝戦は同点の場合、タイブレークを 1 イニングのみ行い、それでも同点の場合、上記（3）の抽選で決する。
 - (5) タイブレーク方式（関西団地軟式少年野球連盟ルール）
試合打ち切り時の最終メンバーの打順 8 番打者を 3 塁走者、9 番打者を 2 塁走者として、1 アウトとして 1 番打者が打席に入る。1 アウト 2、3 塁で、通常のごとく 3 アウトまでプレーを行う。先行、後攻と同様に行い、得点の多少により勝敗を決する。（但し、1 イニングのみとする。）
 - (6) 次の場合、コールドゲームが成立し試合は終了する。
 - ① 5 回以降、7 点以上の得点差がついたとき。（優勝戦は除く）
 - ② 5 回終了後、降雨などで試合続行不可能と判断し、両チームの得点差があるとき。
 - (7) 投手の投球回数制限は 1 日 7 イニングとする。
ただし、タイブレークを含む延長戦が生じた場合は、1 日 9 イニングを投げることができる。投球イニングに端数が生じた場合も 1 イニング投げたものとする。
 - (8) 大会使用球は内外ボール C 号とする。